

## グリーン物流優良事業者表彰にて 最高位である国土交通大臣表彰を共同受賞

大塚グループの物流を担う大塚倉庫株式会社（大阪市港区、代表取締役社長・濱長一彦、以下「大塚倉庫」）は、アース製薬株式会社（代表取締役社長 CEO:川端克宜）、加藤産業株式会社（代表取締役社長執行役員:加藤和弥）、岐阜プラスチック工業株式会社（代表取締役社長:大松栄太）、株式会社久原本家グループ本社（代表取締役社長:河邊哲司）、株式会社 J-オイルミルズ（代表取締役社長執行役員 CEO:佐藤達也）、鈴木株式会社（代表取締役社長:鈴木健一郎）、太陽化学株式会社（代表取締役社長:山崎長宏）、株式会社 Mizkan Logitech（代表取締役社長:古澤朗）、ライオン株式会社（代表取締役兼社長執行役員:竹森征之）、株式会社ロジパルエクスプレス（代表取締役社長:山本泰治）の10社（五十音順）とともに、12月23日（月）、砂防会館（東京都千代田区）で開催された「令和6年度 グリーン物流パートナーシップ会議 物流パートナーシップ優良事業者表彰」にて、最高位となる国土交通大臣表彰を共同受賞しました。

物流業界では、乗務員の労働時間規制強化（2024年問題）や環境負荷軽減が喫緊の課題です。当社は、日用品、飲料、食品、原料素材、玩具、物流資材メーカーなどの異業種複数社と物流事業者が連携して、輸送モジュール化と混載輸送に取り組んだケースA（詳細は以下概要を参照）に参画しました。

食品配送の効率化に取り組んだケースBとあわせ、これらの取り組みが「持続可能な物流モデル」として高く評価されました。

大塚倉庫は、大塚グループおよび当社の企業理念である'Otsuka-people creating new products for better health worldwide'のもと、人々のより豊かで健康な暮らしに貢献するメーカー物流会社として、今後も持続可能な物流の構築を目指してまいります。



(前列左から)

岐阜プラスチック工業株式会社(代表取締役社長:大松栄太)、大塚倉庫株式会社(常務取締役ロジスティクス本部長:溝内順一)、鈴与株式会社(取締役:松山典正)、国土交通大臣:中野洋昌、アース製薬株式会社(上席執行役員グローバル SCM 本部本部長 CSCO:山下健吾)、加藤産業株式会社(取締役常務執行役員 ロジスティクス本部長兼物流事業担当:日比啓介)

(後列左から)

株式会社 Mizkan Logitech(取締役:安居浩司)、太陽化学株式会社(執行役員コーポレート本部長:山崎長俊)、株式会社久原本家グループ本社(常務取締役:浅井宏円)、株式会社 J-オイルミルズ(執行役員 SCM 担当:畑谷一美)、株式会社ロジパルエクスプレス(執行役員事業本部第 2 統括部ゼネラルマネージャー:石井貴志)、ライオン株式会社(執行役員サプライチェーン企画本部長:南川圭)

## ■受賞案件 概要

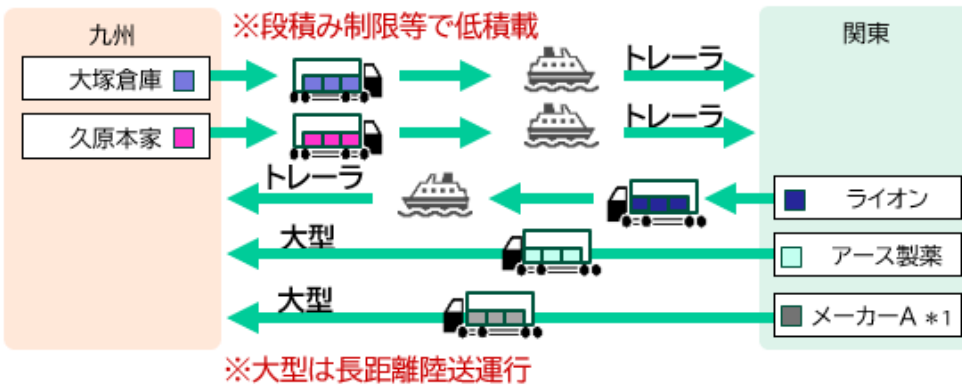
### ケース A-1: フェリーを活用した混載輸送(当社参画事例)

参画企業: アース製薬、大塚倉庫、岐阜プラスチック工業、久原本家グループ本社、ライオン、鈴与

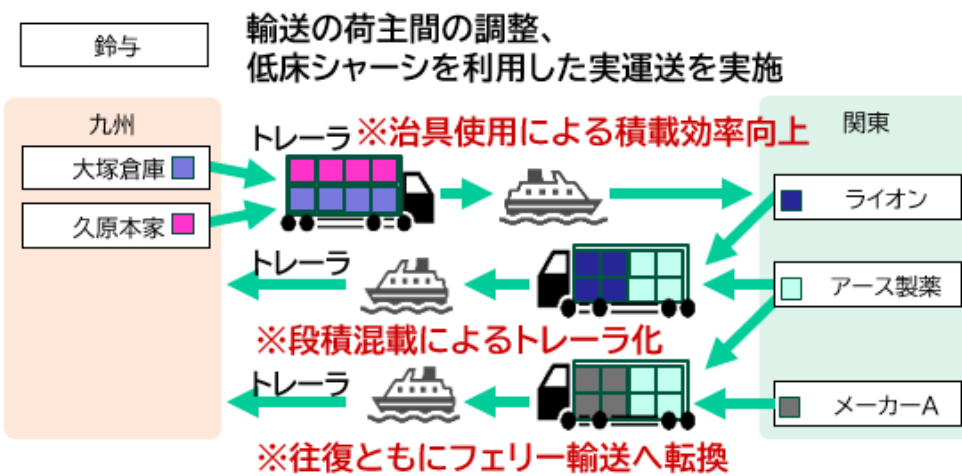
内 容: 九州～関東間の輸送で、複数企業がフェリーを活用して製品を混載輸送。パレットサイズや積み付け方法を標準化し、段積み用治具で 2 段積みを可能にすることで、車両台数を削減しました。また、出荷スケジュールの調整により安定的な運行を実現しました。

成 果: ・CO2 削減: 年間 31.2 トン(19.0%削減)  
 ・ドライバー拘束時間削減: 年間 250 時間(15.4%削減)  
 ・車両台数削減: 年間 39 台(28.9%削減)

## 取り組み前



## 取り組み後



\*1 メーカーA は本取り組みには参加していますが、受賞対象には含まれていません。

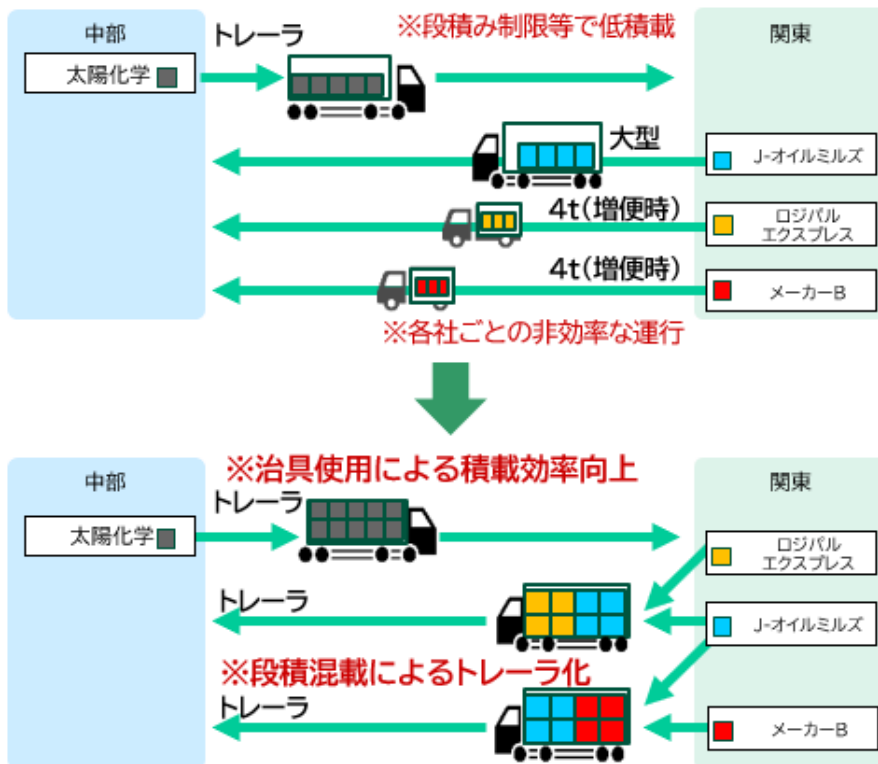
※以下、参考(当社は参画していませんが、今回の共同受賞対象事例となります)

### ケース A-2: 陸送での混載輸送

参画企業: 岐阜プラスチック工業、J-オイルミルズ、太陽化学、ロジパルエクスプレス、鈴与

内容: 中部～関東間の輸送で、ケース A-1 と同様に荷物の段積み用治具を導入。パレットサイズや積み付け方法を標準化し、輸送効率を向上。出荷スケジュールを調整して定期往復輸送を実現しました。

成果: ・CO2 削減: 年間 46.3 トン (23.2%削減)  
 ・ドライバー拘束時間削減: 年間 688 時間 (17.6%削減)  
 ・車両台数削減: 年間 171 台 (31.7%削減)



\* 2 メーカーB は本取り組みには参加していますが、受賞対象には含まれていません。

#### 1.1mパレット統一によるモジュール化

#### スリーブボックス(\*3)使用による段積み



\* 3 スリーブボックス...岐阜プラスチック工業株式会社が制作したパレット段積み用の治具

### ケース B: 食品配送の効率化

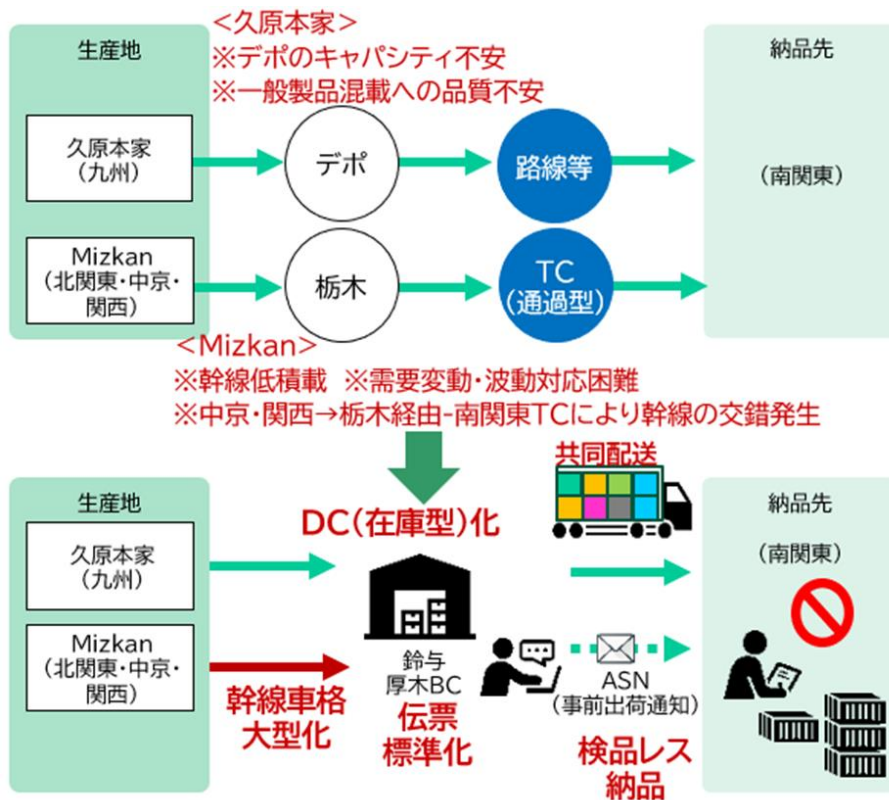
参画企業: 加藤産業、久原本家グループ本社、Mizkan Logitec、鈴与

内 容: 神奈川県厚木市に食品専用の物流拠点(DC)を設置し、各荷主企業から物流拠点(DC)までの幹線輸送の効率化と、複数の食品メーカーによる共同配送を開始。食品専用車両を活用し、効率的な輸送を実現。事前出荷通知(ASN)(\* 4)により、納品作業を効率化し、ドライバーの拘束時間削減に貢献しました。

成 果: ・CO2 削減: 年間 538.1 トン(37.8%削減)  
 ・ドライバー拘束時間削減: 年間 10,916 時間(27.9%削減)  
 ・車両台数削減: 年間 1,392 台(26.9%削減)

\* 4 事前出荷通知... 納入業者から物流センターに事前に「発注番号」、「在庫数量」、「賞味期限」などの情報が通知される。物流センターでは商品が入庫する前に、検収予定の商品の把握が可能となるため、検品が簡略化され、物流センターでの作業軽減に繋がる。





#### ◆本事業全体の成果

- ・CO2 削減: 年間 615.6 トン (34.4%削減)
- ・ドライバー拘束時間削減: 年間 11,854 時間 (26.5%削減)
- ・車両台数削減: 年間 1,602 台 (27.3%削減)

(ご参考) 国土交通省「令和 6 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者」ホームページ

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000845.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000845.html)

#### 【会社概要】

大塚倉庫株式会社 (Otsuka Warehouse Co.,Ltd.)

設 立 : 1961 年 11 月 22 日  
 資 本 金 : 8 億円  
 代 表 者 : 代表取締役社長 濱長 一彦 (はまなが かずひこ)  
 本 社 所 在 地 : 大阪市港区石田 1 丁目 3 番 16 号  
 事 業 内 容 : 倉庫業および運送事業

この件に関するお問合せは、下記にお願いします。

大塚倉庫株式会社 総務人事部

〒104-0053 東京都中央区晴海 4-7-4 CROSS DOCK HARUMI 2F

TEL : 03-5843-2010

Email : owh\_pr@otsuka.jp

URL : <https://www.otsukawh.co.jp/>